

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和3年10月21日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、前月と同等からやや増加したが、中部海域の一部を除き、健康度の指標となる3.0%を下回る値であった。
- ・貝殻真珠層の褐変個体は、全漁場で確認され、出現率も上がった。
- ・貝柱の赤変個体は、引き続き確認されなかった。
- ・水温は、前月の調査以降、やや高めで推移していたが、現在は平年並みとなっている。
- ・真珠層の褐変個体の出現率が上昇しており、栄養の蓄積状態が十分でないことから、引き続き貝の管理に注意してください。

2 調査結果一覧

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R2産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 ^{*2}	2.5(2.5)	2.5(0.1)	0	5% [0]
中部①	日中交雑貝	2.4(3.5)	2.6(1.0)	0	40% [20]
中部②	日中交雑貝	4.3(2.3)	1.2(2.0)	0	10% [5]
南部	日本貝	2.1(3.0)	0.3(1.5)	0	15% [15]
南部	日中交雑貝	2.1(3.4)	1.3(0.2)	0	30% [10]
平均値		2.7(2.9)	1.6(1.0)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

() 内は昨年同月の値、[] 内は前月の値

3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回（概ね第3週）、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・愛媛県漁業協同組合宇和島事業部が、調査日2日前を目処に上記漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝（2年貝）をサンプルとした。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量 (%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値：閉殻筋（貝柱）の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。